



■ 構造概要

Structural Outline

- 構造物名 厚生施設
- 構造・規模 RC 構造 2 階建
- 基礎構造 独立杭基礎(松杭 φ 160 mm)
- 復元総重量 1 基当軸力約 62 t
- 復元平面積 1 基当約 4.5 m<sup>2</sup>(5 基)
- 最大復元量 55 mm
- 支持地盤土質 砂質土・腐植土・粘性土
- 注入孔数 1 基当り 1 ポイント
- 施工方式 多点インターバル方式
- 工期 10 日間

■ 施工概要

Construction Outline

この建物は、竣工から約 45 年間に渡り不等沈下し、建設時には沈下対策として、基礎下部に松杭 φ 160mm 深度 10m まで設置した。沈下の原因は、杭先端以下に支持層が存在しないか、又は杭先端が支持層に到達していないと推定される。

■ 実施施工

Execution Construction

施工は 1 階廊下側より斜削孔 ∠72° し、配管・配線を行い、注入中は、1F 柱及び 2F 食堂床を常時隆起計測を行った。又注入は瞬結性・中結性の恒久性グラウトを複合的に基礎下部に注入した。2F 床が極力水平になるまで注入し施工を完了した。



2 階食堂 EXP.j で-55mm 段差

施工前



段差-7mm まで復元

施工後

